

航空特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問 }

法 規

〔1〕 無線局の免許状に記載される事項に該当しないものを、次のうちから選べ。

1. 通信方式
2. 通信の相手方及び通信事項
3. 無線設備の設置場所
4. 無線局の目的

〔2〕 航空機用救命無線機の一般的条件として無線設備規則に規定されていないものを、次のうちから選べ。

1. 航空機に固定され、容易に取り外せないものを除き、小型かつ軽量であって、一人で容易に持ち運びができること。
2. 海面に浮き、横転した場合に復元すること、救命浮機等に係留することができること(救助のため海面で使用するものに限る。)
3. 筐体^{きようたい}に黄色又は橙色の彩色が施されていること。
4. 電源は、人体に危害を及ぼさないように適当に遮へいしてあること。

〔3〕 航空特殊無線技士の資格を有する者が、25,010キロヘルツ以上の周波数の電波を使用する航空機局(航空運送事業の用に供する航空機のものを除く。)の無線電話で国内通信のための通信操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下か、正しいものを次のうちから選べ。

1. 5ワット
2. 10ワット
3. 50ワット
4. 100ワット

〔4〕 無線従事者が電波法若しくは電波法に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき、総務大臣から受けることがある処分を次のうちから選べ。

1. 3箇月以内の期間を定めた無線設備の操作範囲の制限
2. 6箇月間の無線通信の業務の従事停止
3. 無線従事者の解任命令
4. 無線従事者の免許の取消し

〔5〕 無線局の臨時検査(電波法第73条第4項の検査)が行われるのは、どの場合か、正しいものを次のうちから選べ。

1. 総務大臣が電波法の施行を確保するため特に必要があると認めるとき。
2. 無線局の再免許を受けたとき。
3. 周波数の指定の変更を受けたとき。
4. 無線設備の変更の工事を行ったとき。

〔6〕 免許人は、無線局の検査の結果について総合通信局長(沖縄総合通信事務所長を含む。以下同じ。)から指示を受け相当な措置をしたときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 措置の内容を無線業務日誌に記載するとともに総合通信局長に報告する。
2. 措置の内容を無線検査簿又は無線局検査結果通知書の記載欄に記載するとともに総合通信局長に報告する。
3. その旨を検査職員に連絡し、再度検査を受ける。
4. 直ちにその旨を届け出る。

航空特殊無線技士試験問題

法

規

〔7〕 次の記述は、航空移動業務の無線電話通信における呼出事項を無線局運用規則の規定に沿って掲げたものである。□内に入れるべき最も適切な字句を下の番号から選べ。

① 相手局の呼出符号 3回以下

② 自局の呼出符号 □

1. 1回
2. 2回
3. 2回以下
4. 3回以下

〔8〕 次の記述は、遭難航空機局が遭難通信に使用する電波について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、誤っているものを次のうちから選べ。

1. 遭難航空機局は、J 3 E電波 2,182 kHz 又は F 3 E電波 156.8 MHz を使用することができる。
2. 遭難航空機局は、責任航空局から指示されている電波がある場合にあっては、当該電波を使用する。
3. 遭難航空機局は、責任航空局から指示されている電波がない場合には、航空機局と航空局との間の通信に使用するためにあらかじめ定められている電波を使用する。
4. 遭難航空機局は、遭難通信を開始した後は、いかなる場合であっても、使用している電波を変更してはならない。

〔9〕 免許人（包括免許人を除く。）は、除外規定がある場合を除き、無線局の免許を受けた日から起算してどれほどの期間内に、また、その後毎年その免許の日に応当する日（応当する日がない場合は、その翌日）から起算してどれほどの期間内に電波法に定める電波利用料を国に納めなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 10日
2. 30日
3. 1箇月
4. 3箇月

〔10〕 無線電話による自局に対する呼出しを受信した場合において、呼出局の呼出符号が不確実であるときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 応答事項のうち相手局の呼出符号を省略して、直ちに応答する。
2. 応答事項のうち相手局の呼出符号の代わりに「貴局名は何ですか」を使用して、直ちに応答する。
3. 応答事項のうち相手局の呼出符号の代わりに「誰かこちらを呼びましたか」を使用して、直ちに応答する。
4. 呼出局の呼出符号が確実に判明するまで応答しない。

〔11〕 次の事項は、遭難航空機局が遭難通報を送信する場合の送信事項を示したものである。無線局運用規則の規定に照らし、これに該当しないものはどれか。

1. 遭難した航空機の識別又は遭難航空機局の呼出符号若しくは呼出名称
2. 遭難した航空機の乗員の氏名
3. 遭難した航空機の位置、高度及び針路
4. 遭難の種類及び遭難した航空機の機長のとらうとする措置

〔12〕 無線局が無線電話の機器の試験中、しばしば自局の発射しようとする電波の周波数その他必要と認める電波の周波数により聴守を行わなければならないのは、何を確かめるためか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 他の無線局から停止の要求がないかどうか。
2. 「本日は晴天なり」の連続及び自局の呼出名称の送信が10秒間を超えていないかどうか。
3. 受信機が最良の感度に調整されているかどうか。
4. その電波の周波数の偏差が許容値を超えていないかどうか。